

市史へんさん

第228号

平成30年3月1日
小松市史編纂事務局
へんさんだより



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日射しが感じられるようになりました。3月は年度の最後の月で、卒業、進学、就職、転勤など、いろいろな事情で、これまでの環境とは様変わりする季節でもあります。4月に向け、あわただしい毎日をお過ごしのことと思いますが、環境変化に体調を崩さないようお気を付けください。

先月は、1月に続き大寒波が襲来し、「56 豪雪」以来、37年ぶりの記録的な大雪になりました。芦城公園の木々も雪の重みに耐え切れず、湾曲したり、折れたものもありました。3月は別名「弥生」。草木が弥々(ⅴⅴ)生い茂るという由来があるように、植物の生命力に満ち溢れた月です。弥生パワーで乗り切りましょう。

古文書講座 (第80回市史講座)

「古文書を読んでみよう」 2月18日

講師：袖吉正樹 金沢市玉川図書館担当館長補佐



会場：小松市公会堂

今回、始めて武家文書と寺院文書を取り上げた。くずし方は町方や地方(ジカ)文書と同じだが、武家・寺院文書はくずしが少なく、正當なくずし方なので、初心者には読みやすい文書である。

古文書の決まり(書札礼(シヨツレイ)という)に尊敬の表記があり、1月号でも紹介したが、闕字(ケツジ)、平出(ヘイシュツ)、抬頭(タイウ)がそれに当たり武家文書で使われることが多い。文書は、この書札礼に従って書き、藩士に代わり書記官(祐筆家)が書状を書くのが慣例である。



『前田利光(利常)知行宛行状』 元和4年(1618)9月 …下記文書参照

武家文書の中でも典型的な書状で、前田利光(利家)が前田家の家臣である茨木小刑部(コギョウブ)へ出した「知行宛行(アタガ)状」。茨木小刑部の土地の支配を300石から750石に加増することを申し渡した書状。

『河野藤兵衛隠居并(ナレビニ)せがれ左太夫家督相続申付状』 宝暦元年(1751)12月

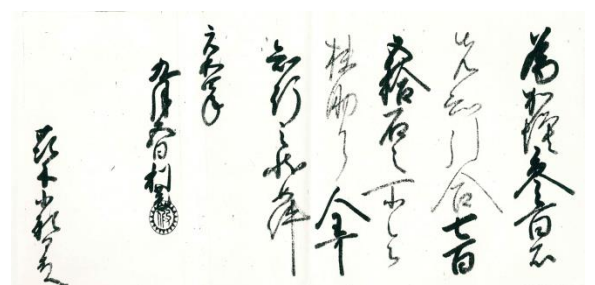
河野藤兵衛の隠居を認め、代わりに二人扶持を渡し、家督は息子に相続させることを申付けた書状。差出人は書いてないが、裏に年代と日付を記した「端裏書(ハツラギキ)」があり、この年月日によって差出人が長善通と推察される。給料は、「石」、「俵」、「扶持」と身分により違い、一人扶持は1人1日玄米五合が貰える。

『院家列座御免に付本願寺坊官連署奉書』 天保2年(1831)8月

本願寺坊官(最高指導者の世話をする僧)が乗念寺弁道と門徒中に出した文書。「院家(インゲ)」は寺の中でも一番上の位で、乗念寺にその位が許されたことを申し渡した書状。

『乗念寺弁道隠居に付新発意僧英後住何状』 天保5年(1834)6月

乗念寺弁道の隠居に伴い、後任の住職を僧英にしたいと願い出た書状。こうした藩への伝達の流れは、寺にも、村方五人組のような五カ寺組があり、そこから地域の寺院を統制する触頭(フカシ)を経て藩へと伝達された。文中の「後住(ゴジユ)」は次の住職のこと。



1回目に読み解いた文書です。実際の文書に当たってみましょう！

市史講座アンケート結果 (2月18日)



【講座はいかがでしたか？】

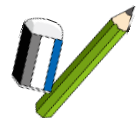
- ・ 分かりやすかった 14 人
- ・ ほぼ理解できた 17 人
- ・ 勉強になった 12 人

【学びたい古文書は？】

- ・ 近世文書 15 人
- ・ 中世文書 13 人
- ・ 村方文書 11 人
- ・ 基本のくずし字 26 人
- ・ くせのあるくずし字 8 人

【ご要望・ご希望】

- ・ 回数を増やしてほしい。6～7回シリーズで。
- ・ 一向一揆，百姓関係を学びたい。
- ・ 栗津温泉など，地元の古文書で説明してほしい。
- ・ 戦国時代，幕末等の講義が聞きたい。



お知らせ

今回の古文書講座の資料が残っています。
ご希望の方は資料をお渡しいたしますので市史編纂事務局
までお越しください。

38 豪雪，56 豪雪，平成 30 豪雪！



38 豪雪での除雪開始風景（東映前通り）

<事務局 2 月の活動状況>

- ・ 2 月 15 日(木) 近現代部会
- ・ 2 月 15・16 日 行政(財政)資料調査
- ・ 2 月 16 日(金) 教育部会
- ・ 2 月 17 日(土) 『建築編』確認調査
- ・ 2 月 18 日(日) 古文書講座(武家・寺院文書)
- ・ 2 月 24 日(土) 古文書講座(町方文書)

昭和 38 年，56 年に続く豪雪となった今年，小松でも，交通網は麻痺し，ビニールハウスや家屋の倒壊など，被害が出ました。

「56 豪雪」では，山間部を中心に降り続け，2 ヶ月で尾小屋，大杉地区の積雪は 400cm になりました。

「38 豪雪」では，1 月 15 日に異常降雪と猛吹雪が続き，26 日には旧市内で積雪は 160cm，山間部で 400cm に達し，大杉・西尾・新丸地区は孤立し，ヘリコプターによって緊急物資が輸送されました。また，光谷町は昭和 25 年から村を挙げてりんご園を造り，同 35 年には完成しましたが，この豪雪のためりんごは全滅し，村おこしの夢は砕かれ，翌 39 年 6 月 14 日に閉町し，山を下りました。



<事務局 3 月の活動予定>

- ・ 3 月 1 日(木) 教育関係資料調査(文教会館)
- ・ 3 月 1 日(木) 『通史編』打合せ
- ・ 3 月 4 日(日) 古文書講座(村方文書)



<3 月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局（小松市立図書館 2 階）

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>